

第九十回帝國議會 林業會法案委員會會議錄(速記)第十三回

付託議案
林業會法案(政府提出)

昭和二十一年九月五日(木曜日)午前十時十四分開議

出席委員

委員長 森 幸太郎君
理事 水口 周平君 理事 錦貫 佐民君
理事 平野 增吉君

木島 義夫君 小柳富太郎君
武田信之助君 小佐 耕作君
太田秋之助君 本名 武君

町田 三郎君 永井勝次郎君
林田 哲雄君 松澤 一君
坪井 龜藏君 磯田 正則君

井出一太郎君
團司 安正君
出席國務大臣

農林大臣 和田 博雄君
運輸大臣 平塚常次郎君
出席政府委員

農林參事官 鈴木 強平君
農林技官 中尾 勇君
農林事務官 平川 守君

運輸事務官 滿尾 君亮君
本日ノ會議ニ付シタ議案
林業會法案(政府提出)

○森委員長 是ヨリ昨日ニ引續キ會議ヲ開キマス。 本名武君

○本名委員 林政ノ基本ノ問題ニ付テ一ツト、ソレカラ林業ノ緊急對策ニ付テ、更ニ又本法案ノ一般ノ運籌事項ト條文ニ付テ御尋ネシタイト思ヒマスガ、大臣ガ御見エニナラナイノデ、順序ヲ變ヘテ法文

ノ一般ノ運籌ニ付テ、數點御伺ヒシタイト存ジマス、先ツ第一ニ、第一條ノ林業ノ規定ニ付テハ、今マデ各委員カラソレレノ質問ガアリ、又政府カラ詳シク御答辯ガアツタノデ、此ノ點ハ深ク觸レナイコトニ致シマスガ、唯先般ノ當局ノ御説明デハ、薪炭ガ林業ノ中ニ含マレテ居ラナイガ、可及的速カニ包含セシメルト云フコトヲハツキリ申サレタノデ、私ハ非常ニ敬重ヲ表スルモノデアリマス、唯茲デ問題トナリマスノハ、現在ノ機構ニ於キマスル薪炭ノ生産並ニ配給ノ狀況ハ、申上ゲルマデモナク洵ニ不合理、而モ消費者ヲ沒却シタ其ノ行程ヲ經テ、或ハ價格ノ面ニ、配給手續ノ面ニ、色々缺陷ガ多イデアリマス、殊ニ生産ノ面ニ於キマシテ、此ノ林業ニ最モ深い關係ヲ持ツ薪炭ガ、農業者ニ依ツテ掘ラレテ居ルト云フコトハ、林業行政ノ上デ、或ハ又運籌ノ上デ、全ク不合理デアルト存ジマス、サウシテ又此ノ法案ト觀ミ合セマシテ、先般ノ政府ノ御答辯デアル所ノ、薪炭ヲ林業ニ含メタ場合ニ、農業者ヲ林業團體ノ中ニ包含セシメメバナラナイコト云フ矛盾ガ起キテ參ルノデアリマス、勿論定款ニ依ツテ農業者ヲ含メナイコト云フ規定ヲ設ケレバ別デアリマスガ、薪炭其ノモノガ林業會法ニ依ツテ扱ハレハニ拘ラズ、農業者ヲソレニ包含セシメナイコト云フコトハ甚ダ矛盾デアリマス、ソレヨリモ寧ろ生産ノ實際ハ農業者カラ完全ニ切離シマシテ、獨立セル單一ノ林産組合ニ依ツテ薪炭ヲ生産シ、森林組合指導ノ

下ニ此ノ林業會ヲ運籌シテ行クコトガ、理想デアラウト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテ當局ノ御意見ヲ承リタイト存ジマス

○平川政府委員 薪炭ノ指定ニ付キマシテハ、先般鈴木政府委員カラ御答ヘ申上ゲマシタ通りデアリマス、之ヲ指定致シマス場合ニ、農業者ガ若シ加入ヲ致サウト云フコトニナリマスレバ、林業會法ノ第九條第三號ノ方デ、加入ヲスルト云フコトニナルト思ヒマス、併シ此ノ農業者ガ加入ルコトガマヅイカラ、農業者ヲ排除シテ單一ノ林産組合デ入ルト云フ御話デゴザイマスガ、現實問題トシテ、農業者ガ副業トシテ薪炭ヲ致シテ居リマス分ニ付キマシテハ、農業者ノ實際ノ力ヲ無視スルコトモ困難デハナカラウカト存ズルノデアリマス、併シナガラ此ノ點ニ付キマシテハ、農業者ノ全體ノ問題ニモ關係ヲ致シマスノデ、尙ホソチヲ方ノ研究ニモ俟タナケレバナラヌカト思ヒマス、假ニ農業者ノ方ガ、此ノ薪炭問題ハ單一ニ離スト云フ風ヲ決定ニナリマスレバ、單一ノ林産組合ト云フコトニナラウカト思ヒマスガ、現狀ニ於キマシテ、今直チニ薪炭ヲ農業者ノ手カラ離シテシマフト云フコトハ、少シ行過ギニナリハシナイカト云フ風ニ考ヘテ居

○平川政府委員 此ノ問題ニ付キマシテハ、先般モ御答ヘヲ致シマシタヤウニ、此ノ林業委員會ノ規定ヲ本案ノ第三十條ニ明記致シマシタノハ、第三十一條ト關聯ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、政府ニ對シテ日本林業會ガ意見ヲ述ベル、政府ニ對シテ意見ヲ述ベマス機關ハ日本林業會ニ限ラレテ居ルノデアリマシテ、地方林業會ノ方ハ、政府ニ意見ヲ具申スルト云フ機能ニ此ノ法律ニ依ツテ與ヘラレテ居ナイノデアリマス、日本林業會ニ限リマシテ其ノ機能ヲ與ヘラレテ居リマス爲ニ、其ノ機能ヲ行使スル際ニ於キマシテハ、本來ノ意思決定ノ外ニ、意思決定ヲスル際ニ、豫メ日本林業委員會ガ意見ヲ聽ク、斯ウ云フコトヲ本法ノ中ニ明記スル必要ガアツタ譯デアリマス、地方林業會ニ於キマシテ、其ノ林業會ノ運籌上林業委員會ヲ置クコトガ宜シイト云フコトハ能ク分リマスガ、サウ云フ意味ニ於キマシテハ、必ズシモ此ノ法案ニ明記スル必要ガアリマセヌノデ、定款或ハ場合ニ依リマシテハ、勅令等ヲ以テ規定ヲ致シテ十分デハナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○本名委員 次ハ第十四條ノ役員ニ付テデアリマスガ、本法案ノ提案理由トシテ、或ハ又其ノ後ノ委員會ニ於ケル御答辯ノ中ニ、本法案ハ最モ民主化サレタ方面ニ向ツテ立案サレタト云フコトハ、重ネノ、大臣初メ各政府委員カラ御説明ガアリマシタガ、先ツ民主化ノ根本問題ノ一ツデアル所ノ役員ハ、今後ノ林業會乃至ハ林業組合ノ運籌

ニ、最も大率指導性ト、運営ノ上ノ大キナ役割ヲ持ツモノデアラウト存ジマス、殊ニ戰時中ノ凡ニル強制的ナ、全體主義的ナ團體デアッタ林業關係ノ團體ノ役員ガ、本法案ニ依リ新シク設立サレル、民主化サレントスル林業會ニ幾ルコトハ、洵ニ明朗ヲ缺キ、且ツ民主化ノ徹底ニモ支障ヲ來スヤウナ、結果ニナリバシナイカト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテ、私ハ須ラク過去ニ於ケル林業團體ノ指導者、乃至ハ幹部、役員ハ、新シク生レル林業會ニ其ノ席ヲ設ケナイト云フ規定ガ一ツ必要デアラウト思ヒマス、既ニ先般上程サレマシタ自動車交通事業法案ニ於キマシテハ、附則ニ於テ其ノコトヲ誦ヒ、更ニ勅令ヲ以テ、具體的ニ役員ノ任命ニ對スル事項ヲ明カニ致シテ居リマス、此ノ林業會ノ設立ニ當リマシテモ、ソコマデ政府ガハツキリシ指導ヲナサルコトガ、最も民主化ヘノ明朗ナ出發ヲ致セル所以デアラウト思ヒマス、此ノ點ニ付テ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○鈴木(國)政府委員 新ニ出來マス林業會、或ハ林產組合ノ役員ヲ、新ナル見地カラ、從前ノ戰時中ノ指導者デナイ者ニハツキリト明示シテハ如何、御尤モノ意見デアルト存ジマス、併シナガラ出來マス林業會法ハ、自主的ニ業者ガ協力一致シテヤルノデアリマシテ、戰時中ノヤウナ獨占的ナ事業ノ經營ノ爲ニ、時ノ官廳其ノ他ガ命令シテ役員ヲ作ルノデナクシテ、今度ハ集ル全部ノ組合員又ハ會員ノ總意ニ依ツテ役員ガ生レルノデアツテ、是等ノ生ルベキ役員ハ、必ずヤ御期待ニ副フ役員ガ生レルト思フノデアリマス、大キナ意味ニ於キマシテ、全日本ノ經濟ヲ

育員フ意味ニ於キマシテモ、是等關係ノ會員或ハ組合員カラ、最も重要ナ、サウシテ聰明ナ方々ガ、會員ノ總意ニ依ツテ、或ハ組合員ノ總意ニ依ツテ生レルコトヲ期待致シマシテ、是等ニ付キマシテハ、アマリ立入ラナクトモ御説ノ通りニナリ得ルゾハナイカト思フノデアリマス、ト申シマスノハ、此ノ林業會法モ組合或ハ林業會ガ間違ツタ方向ニ、所謂公益性ヲ著スヤウナ方向ニ進ムヤウナ時ニ於テハ、政府ハ監督上ニ必要ナル命令或ハ處分ヲスルコトニナリマスガ、ソレ以外ニ於キマシテハ、組合ノ健全ナル自主的ナル發達ヲ御願ヒ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマスノデ、是等ノ點ニ付キマシテハ、御説ノ通り、巧ク新ナル組合或ハ林業會ヲ選任セラレルコト存ジマス

○本名委員 只今ノ御意見ハ至極當然デアツテ、我々モ之ヲ望ミ居ルノデアリマス、併シナガラ先程申上デマシタヤウニ、林業關係者ハ、申上デテ甚ダ失禮デアリマスガ、從來ニ於テハ非常ニ政治性ニ貧困デアリマス、其ノ結果トシテ、非民主的ナモノガ出來上ルコトヲ恨レタ爲ニ御伺ヒシタノデアリマス、只今ノ御説ノ通り實現致シマスヤウ、一層ノ御指導ヲ、御願ヒ申上デマシテ、次ニ運輸大臣ガ御忙シイ所ヲオイデ下サツタノデ、關係ノコトヲ二、三御伺ヒ致シタイト存ジマス

ハ、昔カラ能ク言ハレテ居リマスガ、山ヲ買フヨリ出シヲ買ヘト云フコトヲ言ハレテ居リマス、出シト云フコトハ即チ輸送デアリマス、搬出デアリマス、斯クモ深イ林業ニ關係ノアル輸送ガ、戰時中並ニ終戰後一年有餘ヲ過ギタ今日、何等明理化サレタ方途ガ實現サレテ居ナイコトヲ、非常ニ遺憾ニ思フノデアリマス、是トモ敗戰後ニ於ケル客觀的ナ情勢、或ハ國內ニ於ケル事情カラ、洵ニ已ムヲ得ナイモノガアリマスガ、又一面當局ノ御指導、或ハ御理解ノ不足ノ點モアリハシナイカト云フコトヲ、心私カニ感ズルモノデアリマス、今更運輸大臣ニ伐出シ事業ノ内容ニ付テ、詳シク説明スルマデモゴザイマセスガ、如何ニ致シマシテ生産事業ニ、其ノ經費ノ點カラ、努力ノ點カラ、時間ノ點カラ、大半ヲ背負フ輸送業者ニ對シテハ、絕對ノ御理解ト御支援ヲ戴キタイト考ヘルノデアリマシテ、先般今日マデ指摘サレマシタ中ニ聽洩ラシタノデアリマスガ、小運搬組合ノ問題ガ一ツ殘ツテ居ルト思ヒマス、是ハ戰時中ニ於キマシテ、凡ニル統制機關ト同様ニ、此ノ小運搬組合ガ強制的ニ、強制的ニ結成セラレマシテ、斯業ノ改良發達ノ爲ニ洵ニ結構デハアリマシタガ、時經ルニ從ヒマシテ、此ノ小運搬組合ガ色々ナ形ニ於テ獨善化サレ、或ハ官僚化サレマシテ、眞ノ生産業者ト小運搬業者トノ協調ト、而モ過去ニ於ケルハシキ勞務ノ美風ガ一掃サレマシテ、幾多ノ生産上ノ支障ヲ來シタコトモ、是レ戰時中ノ最モ忌ハシキ統制ノ結果デアラウト存ジマス、是ニ於キマシテ政府ハ、此ノ小運搬業者、小運搬組合ニ對スル指導ヲ、今後モ此ノ形態ニ於テ持續サレルカド

ウカト云フコトヲ、一ツ御尋ネ致シタイト存ジマス

○平塚國務大臣 木材ノ搬出ニ小運送ガ非常ナ役割ヲ致シテ居ルコトハ御説ノ通りデアリマシテ、本來業者ガ、所謂自家用自動車ヲ以テ搬搬スルコトガ一番能率的デアアルノデアリマス、然ルニ戰時中此ノ小運送ノ「トラック」業者ヲ統制致シマシテ以來、動トモスルト獨占事業ノ弊害ガ現ハレテ居ルコトハ事實デアリマス、併シナガラ之ヲ直チニ解イテ元ノ狀態ニ復スト云フコトハ、色々ナ困難ガ伴フテ居ルヤウデアリマスケレドモ、是ハ出來ルダケ早イ機會ニアノ統制ヲ解イテ、サウシテ地方地方ニ分散スルコトガ望マシイコトデアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、唯此ノ合同シマシタ會社ガ、良イ車ヲ取ラレテシマシタ、或ハ借金ヲ持ツテ居ルトルカ、現在橫濱ダト言ウテ居リマシタモ、アレガ唯一ノ機關ニナツテ居ルノデアリマスカラ、自發的ニ解散セルモノハ解イテ行ツタ方宜イノデアリマシテ、役所ト致シマシテモ、或ルベク解クコトニ今後指導シテ行キタイト思ツテ思リマス、解ケナイ事情ノアル團體ニ對シテハ、出來ルダケ新シイ車ヲ配給サレテ、助成シテ行キタイ、斯ウ云フ老ヘテ現在持ツテ居リマス

○本名委員 私人御伺ヒ致シマス言葉ガ足ラナカク爲ニ、大臣ノ御答辯戴キマシタコトハ、私ハモウ少し先ニ行ツテカト伺ヒタイコトノ御答辯デアリマス、併シ何レモ關聯ガアリマスノデ、一括シテ此ノ問題ヲ改メテ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、私ノ先程御伺ヒ致シマシタノハ、所謂牛馬ニ依ル所ノ小運搬ノ問題ヲ御尋ネ致シタノデアリ

マス、更ニ只今御答辯ノ中ニ「トラック」ノ問題ニ付テ御答ヘヨ戴イタノデアリマスガ、實ハ只今ノ御答辯ハ、能ク私ノ身ニ沁ミテ諒解致スモノデアリマス、唯茲デ問題ハ、「トラック」ノ統制會社ノ成立ト、即チ是レ戰時中ニ於ケル強制的ナ、業者ノ抑壓ト統合ニ依ツテ結成サレタ非民主的ナ會社デアリマス、是ガ事業組合ニ依ツテ運營サレルノデアリマスガ、果シテ此ノ非民主的ナ要素ヲ持ツ會社ガ、今後民主的ニ運營シテ行ケルカドウカト云フコトハ、只今ノ御答辯、一日モ早ク解體スルモノハ解體スルコト云フ言葉ニ依ツテ首カレルノデアリマスガ、唯茲デ問題ハ、統制會社モ色々營利其ノ他ノ經營ノ面カラ新車ノミヲ追求致シテ、其ノ内實ニ於キマシテハ、一寸ノ手入デ間ニ合フ車ガ放置サレ、或ハ廢車同然ニ扱ハレテ居ルノデアリマス、是等ノ活用ニ付テ一步進ンデ御檢討ヲ願フト同時ニ、先般モ武蔵委員其ノ他カラ御質疑ガアリマシタガ、特ニ林業業ニ對スル自家用車ノ認可ヲ促進シテ戴キタイト云フコトデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、大臣ノ御答辯ニ依リマスレバ、生産ガ件ハナイ爲ニ、遺憾ナガラ其ノ實ヲ舉グルコトガ出來ナイト云フ一點ニ止マツテ居ツタヤウデアリマス、運輸御當局ハ固ヨリ、商工省モ、自動車ノ生産ニ付テハ極力御努力戴イテ居ルコトハ能ク分ツテ居リマスガ、併シナガラ一方ニ於テ約一萬臺ノ輸入車輛ヲ申請中デアルト云フコトモ伺ヒマシタ、此ノ一萬臺ノ車輛ガ、一體幾ラ我々ノ望ミ自家用車ニ轉化サレルカト云フコトハ、當分詳シク話ガ出來カイト云フコトデシタガ、私ハ少クトモ、此ノ林業ノ生産最盛期ニ向ツテ居

ル今日、鐵道上最モ關係ノアルトラッ
ク「車輛ノ配車計畫ガ、政府ニ於テ未
ダニ具體化サレテ居ナイト云フコト
ヲ非常ニ残念ニ思フ」デアリマス、勿
論「萬端ノ車輛ガ確實ニ入ル、入ラヌハ
別ト致シマシテモ、少クトモ入ツタ場
合ニハ是レ」ノ方向ニ配車スルノ
ダ、配給スルノダト云フ、大體ノ目安
ハ御開カセ願ヒタイト思ヒマス、ト同
時ニ生産ガ伴ハナイト申サレマスガ、
私ハ此ノ一萬端ノ車輛コソハ生産ノ最
モ大キモノニナルデアラウト思ヒマ
ス、國內生産ノミニ頼ラズ、輸入即チ
生産ト見テ、重點ノ考慮ヲ持タレマ
シテ、其ノ配車ノ内容ヲ努メテ明カニ
サレタイト願フデアリマスガ、此ノ
點モウ一度御伺ヒシタイト存ジマス

ガ運用サレルカハ今日未定デアリマス
ルケレドモ、役立ツヤウニナルト云フ
コトハ明カナコトデアルト思ヒマス、
唯今日ノ場合ハツキリ御答ヘガ出來ナ
イコトヲ遺憾ト致シマス
○本名委員 只今ノ御意見見了承致シマ
ス
次ニ是レ亦生産カラ需要ヘノ徑路ト
致シマシテ、最モ不可分ノ關係ニアリ
マス所ノ小運送業法ト日本通運株式會
社法ニ付テ二、三承リタイト存ジマ
ス、木材ノ生産ガ戰時以來非常ニ逼
迫致シマシテ、特ニ戰後ノ復興ニ凡ユ
ル角度カラノ要求ガアルニモ拘ラズ、
復興ガ其ノ實ヲ舉ゲ得ナイ一ツノ原因
トシテ、所謂「積木材ノ輸送ノ不圓滑
ガ舉ゲラレル」デアリマス、色々ナ鐵
道輸送上ノ事情ニ依リマシテ、多々其
ノ原因ハ論ぜラレルノデアリマスガ、
是デ我々トシテ最モ見逃シ得ナイコト
ハ、小運送業法ノ運用ガ誤ツテ居ルノ
デハナイカト云フコトデアリマス、即
チ小運送業法ニ依ル所ノ所謂「小運送業
者ガ、是レ亦戰時中ニ凡ユル法令ト強
壓ヲ以テ強制的ニ統合セシメラレ、而
モ日本通運株式會社法ニ依リマス所ノ
日通ノ運賃ガ、ソレヲ全面的ニ全物資
ヲ通ジテ把握シタト云フ所ニ一ツノ陰
謀ガアル」デアリマシテ、此ノ問題ヲ
解決セヌ限リハ、今後ニ於テモ此ノ木
材ノ鐵道輸送ニハ幾多ノ支障ヲ生ズル
コトト私ハ深く老ヘルノデアリマス、
即チ小運送業法ノ健全ナル發達ハ、小
運送業者ノ企業ノ意欲ヲ創意ヲ完全ニ
活カスコトガ必要デアリマス、徒ラニ
官僚化サレタ、或ハ事務化サレタ通運
ノ業務ノミニ依ツテハ、到底出來得ナ
イト云フコトハ火ヲ賭ルコリモ明カデ
アラウト存ジマス、是ニ於キマシテ、

私ハ簡單ニ結論的ニ申シマス、日本
通運株式會社法ニアリマス其ノ目的デ
アル所謂「法文ノ第一條第一號、第二
號、第三號、即チ貨物引換證ノ整理、
或ハ小運送業者間ノ貸借ノ決済、ソレ
等ノ通運本然ノ業務ノミヲ日通ガ扱ヒ
マシテ、現業ノ業務一切ハ小運送業
法ヲ完全ニ活用致シマシテ、地方ノ業
者ニ任セルコトガ最モ適切デアルト思
フ」デアリマス、一例ヲ申上ゲマスナ
ラバ、日通ガ業務ノ調整ニ於テ大キナ
失敗ヲ見マシタコトハ、徒ラニ官僚化
サレタ業務管理ガ、山ト積マレタ木材
ヲ思フヤウニ動かセナカッタコトモ、
其ノ一ツノ原因デアリマス、更ニ又事
務ノ煩雜ハ遂ニ彼等ヲシテ離反セシメ
ルヤウナ方向ヲ辿ツテ行ツタノデアリ
マス、此ノヤウナ見地カラ致シマシテ
モ、日通ノアノ大キナ而モ官僚化サレ
タ制度ハ、特ニ木材ノ如キ特殊物資ノ
取扱ニハ不適當デアルト、私ハ斷言出
來ルト思フデアリマス、此ノ點ヲ申
上ゲマスレバ、或ハ又一面カラ木材業
者ノ登降土場ニ於ケル不整理、或ハ著
ヤウナコトモ、一ツノ問題トシテ御考
ヘニナルカモ知レマセヌガ、是等ハ何
レモ過去ニ於ケル戰時中ノ木材統制
法、惡法ノ運用ノ缺如ガソコニ現ハレ
タノデアリマシテ、今後ニ於テハ自主
的ナ林産組合ノ運営ハ、決シテ左様ナ
迷惑ヲ當局ニ、或ハ運送業者ニ掛ケル
ヤウナコトハナイト存ジマス、此ノ意
味ニ於キマシテ、一日モ早く小運送業
法ノ民主化ノ實現ヲ期セラレンコトヲ
希望スルト同時ニ、大臣ノ御意見見了
リタイト思ヒマス

非難ガ非常ニ多イコトハ、私モ能ク承
知シテ居リマス、隨ヒマシテ運輸省ト
致シマシテハ、通運ヲ是レ以上強化ス
ルコトハ考ヘテ居リマセヌ、又新シイ
自動車モ殆ド少シヨリ配給モシテ居リ
マセヌ、又假ニ輸入ガ許サレタト致シ
マシテモ、通運ニハ是ハ渡サナイ方針
デ居リマス、隨テ小運送ト云フモノ
ハ、ドウシテモ在來ノ所謂統制サレタ
所ノ、現在アル業者ノ團體ニ依ツテ繼
送ヲ強化シナケレバナラス、此ノ團體
ニ對シテハ出來ル限リ車ヲ多ク配給シ
テ行クト云フ考ヘデアリマスカラ、今
日以上ノ通運ガ獨占的ニ仕事ヲスルヤ
ウナコトハ、再び起キナイデアラウト思
ツテ居リマス、又通運ニ對シマシテ
ハ、別ノ考ヘカラ、部分的ニ組織ヲ變
ヘルヤウナ必要ガ起キルノデハナイカ
ト思ツテ居リマスガ、是ハ目下研究中
デアリマス、十分調査シタ上ニ、國民
ノ非難ニナラナイヤウニシテ行カナケ
レバナラスト云フコトヲ、現在考ヘテ
居リマス

運送株式會社以外ニ、各縣ニ民間ノ運送
業者ヲ許可シナイカドウカト云フ御意
見ヲ承リタイト思ヒマス、其ノ理由ハ
前ニ述べマシタノデ、此處デ省略サシ
テ戴キタイト思ヒマス
○滿尾府政委員 現在小運送業法ニ依
リマス業者ハ、全國デ日本通運ノ他
ニマダ増加七百五十名位居ルト思ヒマ
ス、其ノ中デ一般ノ取扱ヲ致シマス業
者ガ約三百名位アリマス、其ノ他ハ詰
リ特定ノ貨物ノミヲ指定シテ居リマス
所謂「限度免許」ト申シマスモノガ、約四
百五十名位居ルコトニナリマス、ソ
レデ只今マデノ所、我が國ノ小運送業
ノ安定ヲ期シマス爲ニ、新規免許ハ行
政方針トシテ致シテ居リマセヌ
○本名委員 許可ヲ致サヌト云フ御方
針ノヤウデアリマスガ、之ニ付テハ非
常ニ私共ハ意見ヲ異ニスルノデアリマ
ス、昨ヲ經ルニ從ツテ、恐ラクハ新規
ニ許可ヲシナケレバナラスコトニナル
ノデハナイカト思フ、而モ其ノ情勢ガ
目前ニ迫ツテ居ルコトヲ此處デ申上ゲ
マシテ、次ニ影響タイト存ジマス
許可ヲサレナイナラバ、小運送業ノ
施行規則ノ第一條ニアリマス所ノ、自
家用運送ヲ全面的ニ各鐵道管理機關
係、全國的ニ之ヲ容認シテ戴キタイト
思ヒマス、荷主ガ直接自分ノ生産シタ
物ヲ、貨車ノ託送、請求カラ荷役一切
ヲヤル作業手續ヲ認メテ戴キタイト云
フコトデアリマス、此ノ點ニ付テ御伺
ヒ致シマス
○滿尾府政委員 小運送業者ノ新規免
許ヲヤリマセヌノハ、從來數次ノ統合
ヲ行ヒマシテ、大體業態ヲ大キナ規模
ニ持ツテ參ツタ、片方デ統合ヲ行ヒナ
ガラ、新規免許ヲ致シマスコトハ、明
カニ矛盾デアリマスカラ、是ハ致シマ

○平塚國務大臣 輸入車ニ對シマシテ
ハ、色々輸入ノ條件モアリマスルシ、
隨テ受入態勢モ決定シテ居リマセ
ヌノデ、是ガ輸入ガ許サレタ場合ノコ
トハ、具體的ニ申上ゲルコトガ出來ナ
イ關係ガアリマスカラ、御諒承願ヒタ
イト思ヒマス、國內ノ生産ニ付キマシ
テハ、大體一箇年ニ一萬二千臺位出來
ルノデアリマスルガ、月ニ分則シマス
ルト一千臺デアツテ、之ヲ全國ノ業者
ニ割當テルノデアリマスカラ、中々十
分ナコトガ出來ヌノデアリマス、隨テ
自家用車トシテ直チニ木材ノ爲ニ澤山
ノモノヲ振向ケルト云フコトモ、實際
ハ困難デアラウト思フデアリマス、唯
木材ハ食糧、石炭ニ次グ重要物資デア
リマスルノデ、此ノ輸入車ガ確定致シ
マスルト、サウ云フ重要物資ノ運送ニ
役立ツト云フコトガ此ノ輸入ノ條件ノ
一ツニナツテ居リマスカラ、殊ニ北海
道ノヤウナ大量ニ木材ノ出ル方面ニモ
私ハ相當分益——ドウ云フ形デ其ノ事

次ニ是レ亦生産カラ需要ヘノ徑路ト
致シマシテ、最モ不可分ノ關係ニアリ
マス所ノ小運送業法ト日本通運株式會
社法ニ付テ二、三承リタイト存ジマ
ス、木材ノ生産ガ戰時以來非常ニ逼
迫致シマシテ、特ニ戰後ノ復興ニ凡ユ
ル角度カラノ要求ガアルニモ拘ラズ、
復興ガ其ノ實ヲ舉ゲ得ナイ一ツノ原因
トシテ、所謂「積木材ノ輸送ノ不圓滑
ガ舉ゲラレル」デアリマス、色々ナ鐵
道輸送上ノ事情ニ依リマシテ、多々其
ノ原因ハ論ぜラレルノデアリマスガ、
是デ我々トシテ最モ見逃シ得ナイコト
ハ、小運送業法ノ運用ガ誤ツテ居ルノ
デハナイカト云フコトデアリマス、即
チ小運送業法ニ依ル所ノ所謂「小運送業
者ガ、是レ亦戰時中ニ凡ユル法令ト強
壓ヲ以テ強制的ニ統合セシメラレ、而
モ日本通運株式會社法ニ依リマス所ノ
日通ノ運賃ガ、ソレヲ全面的ニ全物資
ヲ通ジテ把握シタト云フ所ニ一ツノ陰
謀ガアル」デアリマシテ、此ノ問題ヲ
解決セヌ限リハ、今後ニ於テモ此ノ木
材ノ鐵道輸送ニハ幾多ノ支障ヲ生ズル
コトト私ハ深く老ヘルノデアリマス、
即チ小運送業法ノ健全ナル發達ハ、小
運送業者ノ企業ノ意欲ヲ創意ヲ完全ニ
活カスコトガ必要デアリマス、徒ラニ
官僚化サレタ、或ハ事務化サレタ通運
ノ業務ノミニ依ツテハ、到底出來得ナ
イト云フコトハ火ヲ賭ルコリモ明カデ
アラウト存ジマス、是ニ於キマシテ、

私ハ簡單ニ結論的ニ申シマス、日本
通運株式會社法ニアリマス其ノ目的デ
アル所謂「法文ノ第一條第一號、第二
號、第三號、即チ貨物引換證ノ整理、
或ハ小運送業者間ノ貸借ノ決済、ソレ
等ノ通運本然ノ業務ノミヲ日通ガ扱ヒ
マシテ、現業ノ業務一切ハ小運送業
法ヲ完全ニ活用致シマシテ、地方ノ業
者ニ任セルコトガ最モ適切デアルト思
フ」デアリマス、一例ヲ申上ゲマスナ
ラバ、日通ガ業務ノ調整ニ於テ大キナ
失敗ヲ見マシタコトハ、徒ラニ官僚化
サレタ業務管理ガ、山ト積マレタ木材
ヲ思フヤウニ動かセナカッタコトモ、
其ノ一ツノ原因デアリマス、更ニ又事
務ノ煩雜ハ遂ニ彼等ヲシテ離反セシメ
ルヤウナ方向ヲ辿ツテ行ツタノデアリ
マス、此ノヤウナ見地カラ致シマシテ
モ、日通ノアノ大キナ而モ官僚化サレ
タ制度ハ、特ニ木材ノ如キ特殊物資ノ
取扱ニハ不適當デアルト、私ハ斷言出
來ルト思フデアリマス、此ノ點ヲ申
上ゲマスレバ、或ハ又一面カラ木材業
者ノ登降土場ニ於ケル不整理、或ハ著
ヤウナコトモ、一ツノ問題トシテ御考
ヘニナルカモ知レマセヌガ、是等ハ何
レモ過去ニ於ケル戰時中ノ木材統制
法、惡法ノ運用ノ缺如ガソコニ現ハレ
タノデアリマシテ、今後ニ於テハ自主
的ナ林産組合ノ運営ハ、決シテ左様ナ
迷惑ヲ當局ニ、或ハ運送業者ニ掛ケル
ヤウナコトハナイト存ジマス、此ノ意
味ニ於キマシテ、一日モ早く小運送業
法ノ民主化ノ實現ヲ期セラレンコトヲ
希望スルト同時ニ、大臣ノ御意見見了
リタイト思ヒマス

非難ガ非常ニ多イコトハ、私モ能ク承
知シテ居リマス、隨ヒマシテ運輸省ト
致シマシテハ、通運ヲ是レ以上強化ス
ルコトハ考ヘテ居リマセヌ、又新シイ
自動車モ殆ド少シヨリ配給モシテ居リ
マセヌ、又假ニ輸入ガ許サレタト致シ
マシテモ、通運ニハ是ハ渡サナイ方針
デ居リマス、隨テ小運送ト云フモノ
ハ、ドウシテモ在來ノ所謂統制サレタ
所ノ、現在アル業者ノ團體ニ依ツテ繼
送ヲ強化シナケレバナラス、此ノ團體
ニ對シテハ出來ル限リ車ヲ多ク配給シ
テ行クト云フ考ヘデアリマスカラ、今
日以上ノ通運ガ獨占的ニ仕事ヲスルヤ
ウナコトハ、再び起キナイデアラウト思
ツテ居リマス、又通運ニ對シマシテ
ハ、別ノ考ヘカラ、部分的ニ組織ヲ變
ヘルヤウナ必要ガ起キルノデハナイカ
ト思ツテ居リマスガ、是ハ目下研究中
デアリマス、十分調査シタ上ニ、國民
ノ非難ニナラナイヤウニシテ行カナケ
レバナラスト云フコトヲ、現在考ヘテ
居リマス

運送株式會社以外ニ、各縣ニ民間ノ運送
業者ヲ許可シナイカドウカト云フ御意
見ヲ承リタイト思ヒマス、其ノ理由ハ
前ニ述べマシタノデ、此處デ省略サシ
テ戴キタイト思ヒマス
○滿尾府政委員 現在小運送業法ニ依
リマス業者ハ、全國デ日本通運ノ他
ニマダ増加七百五十名位居ルト思ヒマ
ス、其ノ中デ一般ノ取扱ヲ致シマス業
者ガ約三百名位アリマス、其ノ他ハ詰
リ特定ノ貨物ノミヲ指定シテ居リマス
所謂「限度免許」ト申シマスモノガ、約四
百五十名位居ルコトニナリマス、ソ
レデ只今マデノ所、我が國ノ小運送業
ノ安定ヲ期シマス爲ニ、新規免許ハ行
政方針トシテ致シテ居リマセヌ
○本名委員 許可ヲ致サヌト云フ御方
針ノヤウデアリマスガ、之ニ付テハ非
常ニ私共ハ意見ヲ異ニスルノデアリマ
ス、昨ヲ經ルニ從ツテ、恐ラクハ新規
ニ許可ヲシナケレバナラスコトニナル
ノデハナイカト思フ、而モ其ノ情勢ガ
目前ニ迫ツテ居ルコトヲ此處デ申上ゲ
マシテ、次ニ影響タイト存ジマス
許可ヲサレナイナラバ、小運送業ノ
施行規則ノ第一條ニアリマス所ノ、自
家用運送ヲ全面的ニ各鐵道管理機關
係、全國的ニ之ヲ容認シテ戴キタイト
思ヒマス、荷主ガ直接自分ノ生産シタ
物ヲ、貨車ノ託送、請求カラ荷役一切
ヲヤル作業手續ヲ認メテ戴キタイト云
フコトデアリマス、此ノ點ニ付テ御伺
ヒ致シマス
○滿尾府政委員 小運送業者ノ新規免
許ヲヤリマセヌノハ、從來數次ノ統合
ヲ行ヒマシテ、大體業態ヲ大キナ規模
ニ持ツテ參ツタ、片方デ統合ヲ行ヒナ
ガラ、新規免許ヲ致シマスコトハ、明
カニ矛盾デアリマスカラ、是ハ致シマ

セメデシタ、併シナガラ業界ノ實情ヲ見マスル時ニ、取扱上ノ問題ニ於キマシテ、所謂獨占ノ弊害ト云フヤウナコトモ相當ニ考ヘラレマスノデ、是等ノ面ニ對スル考慮ハ適當ニシテ行キタイト思ヒマス、併シナガラ前ノ歐洲戰爭ノ後ニ見マシタヤウナ、小運送業者ノ非常ニ規模ノ小サ、資力、信用ノ薄弱ナルモノノ濫立狀態ニナリマシテ、不當競争ヲ致シマスコトハ、却テ國民一般ノ利益ヲ侵害スル結果ナルト考ヘテ居リマス、隨テ免許ノ問題ヨリモ、寧ろ業界ノ取扱等ニ於キマシテ、國民ニ納得ノ行キヤウナ、満足ノ行キヤウナ體制ヲ整ヘルコトガ急務デアリ、其ノ爲ニハ強ク免許ダケノ問題デハナイト考ヘテ居リマスルガ、目下其ノ點ニ付キマシテ色々苦慮シテ考ヘテ居リマス、尙ホ驛ノ取扱ノ問題デアリマスガ、是ハ鐵道ガ社會ノ公器デアリマス以上、必ズシモ運送店ノ手ヲ通ラナケレバ、荷物ノ取扱ヲ致サナイト云フコトハナイノデアリマス、是ハ鐵道事業法ナリ、又運輸規定ノ精神ニ照シマシテモ、所謂門戶開放ヲ致シマシテ、公平ノ原則ニ則シテ、鐵道ノ作業ト云フモノニ致スコトニナツテ居リマスノデ、其ノ精神ハ十分尊重シテ參リタイト考ヘテ居リマスルガ、實際問題ト致シマス、時々御不滿ヲ買フヤウナ事態ガ起ツタノハ、驛ノ構内ノ作業ガ非常ニ複雑ニナル、構内ガ非常ニ狹小ナルト云フヤウナコトデ、構内ノ作業能率等ノ關係カラ、係員等ニ於キマシテ、日本通運ナラ日本通運ノ手ヲ出サヤウナコトガ、間々ナイデモナカッタカト考ヘラレルノデアリマス、此ノ構内ノ問題ニ付キマシテハ、實ハ

鐵道ノ施設ト云フモノガ、先ノコトヲ見透シテ十分裕リヲ持ツテ出來テ居ナイ爲ニ、實際ニ構内ノ取扱ハシノ能率ノ問題ガ絡ミマシテ、時々サウ云フ問題ガ起ルノデアリマスルガ、主觀上、觀念上ニ於キマシテハ、取扱ト云フモノハ、今日以後、將來ニ於キマシテモ炳トシテ存在シテ行クベキモノダト考ヘテ居リマス

○本名委員 小運送業ノ新規免許ノコトニ付テハ、十分ニ了解シマス、唯自家用運送ハ一應事情ニ依ツテハ、積極的ニ容認サレト云フ風ニ、承知致シテ宜シイカドウカト云フコト、今御話ノアリマシタ、大口荷主以外ノ關係ニアル、或ハ大口荷主モ含ム所ノ取扱ノ問題デスガ、只今ノ御話ニ依リマス、作業ノ複雑ト構内ノ狹隘ノ爲ニ、日通ヲ經由シテヤルト云フ御言葉デシタガ、荷主或ハ荷物ノ量ト日通ト風ニ私ニハ聽ケルノデアリマスガ、日通ガ扱ハウガ取扱ニシヨウガ、獲セラレル荷物ハ變リハナイト思フノデアリマス、ソコデ作業ノ複雑ト云フコトヲ申サレマシタガ、鐵道ニ於テハ十三萬人ノ従業員ヲ越ニスルコト云フコトデ、只今未ダ解決サレズニ居リデ居ルヤウデアリマスガ、是等ノ人間ヲ越ニスルドコロカ、寧ろ狹隘ノ構内ヲ、複雑ナ手續ヲ、是等ノ人々ノ創意ト働キニ依ツテ解決シテ、一刻も早く、而モ一箇ノ荷物ト雖モ荷主ニ迷惑ヲ掛ケナイ、荷主大衆ニ利便ヲ與ヘルト云フコトコソガ、今日ノ復興ニ、其ノ他色々民生ノ上ニ必要ナコトデハナイカト思ヒマス、此ノ點ニ付テ、如何ニモ御意向ノ程ハ分リマスガ、ドウモ我々ノ口デ謂フ所ノ官僚的ナ御考ガアルヤウ

デアリマス、隨テ大キナ特殊ナ木材ノ如キニ至ツテハ、マダノ御當局ニハ御理解ノ戴ケナイ點ガ澤山アルヤウニ存ジマス、此ノ點ニ付テ、恐レ入リマスガモウ一度御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○滿屋政府委員 取扱ノ積極的ニ獎勵スルコト云フコトニ付キマシテハ、左様ナ方針ハ一寸執リニクイト思ヒマス、是ハ只今運送取扱業ト云フ專門ノ業務ガ介在スルダケ、オモヒノ便宜モアリマセシ、其ノ存在ノ理由ガアリマスノデ、ソレヲ無視シテ取扱ヲ積極的ニ獎勵スルコトハ困難デアリマス、併シナカラ自分ノ所ニ運搬力モアレバ、餘剩ノ努力モアルト云フノデ、ドウシテモソレ等ヲ活用シタイト云フノデ、取扱ニ致シタイト云フ御希望ガアル荷物ニ對シテ、ソレヲ抑制スルコト云フコトモ是レ亦間違ヒデアリマスルカラ、サウ云フ事情デアレバ御取扱ヲ致シテ一尙差支ナイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ又構内ノ小口扱ノ方ハ、實ハ日通ニ全部ヲ取扱ヲ請負ハシテ居ルノデアリマス、貸切ハ別トシテ、小口ノモノニ付テハ日通ニ取扱ヲ請負ハシテ居リマスノデ、ソコデ鐵道ノ係員ハ、其ノ取扱ノ一線カラ一應引下ツテ居ル譯デアリマス、ソコデ取扱上ノ細カイモノ等ニ付キマシテハ、色々混雜等モ上ゲル者ガ稀ニナイデモナイト云フヤウナ實情ダトモ思ヒマス、併シナカラソレヲシモ、ドウシテモ自分ハ取扱ヲ取扱ツテ實ヒタイト云フ御意向ニ對シマシテハ、勿論相相ナイヤウニ取扱フヤウニ日通ヲシテサシメル、鐵道ノ代理者トシテ業務ヲ代行スルモノトシテ、日通ニ於テ日通ノ係員ガ公正ニ御

取扱ヒスベキモノダト考ヘテ居リマス

○本名委員 御意圖ノ程ハ能ク分リマスガ、此處デ御意見スルコト、現地ノ事情ト往々伺ヒシテ其ノ動キヲ異ニスルコトヲ非常ニ遺憾ニ思フノデアリマス、今後一層御理解ヲ戴キマシテ、御意圖ヲランコトヲ希望致シマシテ、運輸ニ關スルコトハ此ノ程度ニシテ次ニ移リタイト思ヒマス

○森委員 磯田君、關聯質問ガアリマスレバ、此ノ機會ニサツテ下サイ

○磯田委員 丁度運輸大臣ガ御見エニナリマシタノデ、此ノ機會ニ、三御伺ヒシテ置キタイト思ヒマス、木材ノ生産、搬出、殊ニ輸送ノ面ニ於キマスル重要性ニ付キマシテハ、只今同僚委員モ申サレタ通りデアリマス、洵ニ大キナ問題ダト思ヒマス、ソコデ現在折角生産サレタ木材、或ハ薪炭ガ山元折角ツテ居ルコト云フヤウナコト、少シモ早く解決ヲ付ケルニハ、ドウシテモ輸送ノ面ニ於キマスル施策ガ徹底シナケレバ、到底ハヤツテ行ケナイト思ヒマス、ソコデ現地ニ於キマスル手ツ取り早イ方法トシテ、現地ニ成ベク多ク此ノ際自動車ヲ運シテ賣フコトガ必要トナリマス、色々ノ面ニ於キマスル要求ニ、一々應ズルコト云フコトハ當局トシテモ中々容易デナイコトハ思ヒマスガ、幸ヒニ閣下所ニ依リマス、先般進駐車カラ一萬臺ノ「ジー」ノ拂下ガアルト云フコトヲ聞イタノデアリマスガ、是ハ早速サウシタ方面ニ運シテ載コトガ出來ルカドウカ、又最初此ノ車ニ付テハ、運輸當局ニ於テ各關係方面ニ對當ヲ決定シタヤウニ聞イデ居リマスガ、ソレガドンナ風ニ對當ヲサレタモノデアルカ、又一面聞ク所ニ依リマス、此ノ自動車ヲ各營

自動車トシテ、ドンノ地方ニ出シテ仕事ヲヤツテ行クノドト云フヤウナコトモ聞イテ居リマスガ、ソレガ事實デアルカドウカ、此ノ點ニ付キマシテ御伺ヒヲ致シタイ

○平塚國務大臣 自動車ノ運送ニ付キマシテハ、省營ハ萬已ムヲ得ザルモノシテ省營デアルノデアリマシテ、後ハ舉ゲテ民間業者ニヤラセルト云フコトガ大陸ノ方針デアリマス、輸入ノ自動車ニ付キマシテ目下交渉中デアリマス、而シテ是ガ非常ニ暇ガ掛ツテ居リマス、ソレニハ色々輸入ノ條件モ決ラズ、我々トシテハ其ノ受入レ態勢モ隨テマダ出來テ居ラヌノデアリマシテ、輸入ニ對シテハ運輸省直接デアリマス、其ノ時輸入ノ條件ガ付イテ居ル、其ノ上デ初メテ運輸省ガ之ヲ受取ルノデアリマス、日本側ト致シマシテハ、輸入ガ完了シマセズ限リハ、其ノ内容ニ觸レルコトガ非常ニ面倒デアリ、先般私ガ大體臆測デ、多分斯ウナルドラウト云フコトヲ申上ゲタコトガ、既ニ聯合車ノ方ニ分ツテ、マダ決マツテナイデヤナイカト非常ナ御叱リヲ受ケタ、全ク其ノ通りナノデアリマシテ、是レ以上此ノ内容ヲ此處デ申上ゲルコトハ出來ナイ情勢ニアリマスカラ、左様御諒承願ヒタイト思ヒマス

○磯田委員 サウシマス、現在マダ受入レ方針モ決マツテナイシ、尙ホ隨テ對當テト云フヤウナコトニ付テハ決マツテ居ナイト云フコトニ解釋シテ宜シウゴザイマス

○平塚國務大臣 左様デゴザイマス、マダ本當ニ何モ決マツテ居ラヌノデアリマス

○磯田委員 モウ一ツ御伺ヒ致シタイ

ノデスガ、賠償工場ノ撤收、機械ノ粗
包材料ノ生産、梱包、搬出サウシタ仕
事ヲ一切日通ニヤラセルト云フヤウナ
コトヲ聞イテ居リマス、是ハ其ノ主管
ガ何處デアリマスカ、此ノ問題ニ付テ
ノ運輸省ニ關スル限リノ御知ラセテ願
ヒタイト思ヒマス

○平塚國務大臣 是ハ賠償ト云フモノ
ハ、イツ何處カラドウ云フ形デ持ツテ
行クカト云フコトハ、マダ内閣トシテ
モ話ガ出来テ居ラヌノデス、唯向フカ
ラ是レノ設備ヲ賠償ニ取ルト云フ
通告ヲ受テタダケデ、此ノ後賠償ニナ
ル物ヲ、工場カラ向フガ持ツテ行ク
カ、或ハ日本デ荷造リスルノカ、向フ
デ勝手ニ運ンデ行クノカト云フコト
ハ、是カラノ交渉ニ俟タナケレバナラ
ヌノデアリマス、而モソレハ餘程先ノ
コトダト思ハレノデアリマス、隨テ
今日運輸省トシテ、通運ニソレヲヤラ
セルトカ云フヤウナコトハ、テンデ話
モ何モノナイノデアリマス、又通運ガサ
ウ云フコトヲヤルト云フコトモ考ヘラ
レナイコトデアリマス、現在何モノナ
イト云フコトニ御諒承願ヒマス

○磯田委員 サウシマス、是モ現在
政府トシテノ方針ハ、全然決マツテナ
イト云フ風ニ解釋シテ宜シウゴザイマ
スカ

○平塚國務大臣 左様デゴザイマス
○磯田委員 之ニ付テ何カ具體的ナコ
トヲ抜ツテ居ルト云フ所モハイ譯デス
ネ

○平塚國務大臣 何モアリマセス、通
告ヲ受ケタダケデ、内閣デハ色々相談
ヲシテ居リマスガ、マダ交渉ニハ移ツ
テ居リマセス

○磯田委員 私ノ關聯ノ質問ハ是デ終
リマス

○森委員 本名君
○本名委員 次ハ後ニ戻リマシテ、法
案ノ第三十一條ノ林業委員會ノ問題デ
アリマス、大體林業委員會ノ性格ニ於
キマシテハ、今マデ鐵々御説明ガアツ
タヤウデアリマス、唯物足りナイコト
ハ、詰問ト云フコトガ如何ニモ弱タシ
イ、從來ノ我々ノ觀念のニ考ヘマス詰
問ニナリガチデアルト云フコトデ、此
ノ條文デケデハ強ク言ヒ現ハサレテ居
ナイヨトヲ遺憾ニ思フノデアリマス
ガ、解釋ノ上ニ於テ、我々ハ何處マデ
モ強力ナ詰問機關デアルト云フコトヲ
念頭ニ置キタイト思ヒマス、就キマシ
テハ、此ノ性格ヨリシテ發スル所ノ權
成ノ上ニ於テ、當局ハドノヤウニ御考
ヘニナツテ居ルカ、此ノ構成ニ依ツ
テ、委員會ノ運営ニ於テ、詰問サレ
タコトガ如何ニ強ク反映シ、如何ニ軍
大ナ役割ヲ持ツカト云フコトガ左右サ
レルト思ヒマス、之ニ付テノ御考ヘヲ
伺ヒマス

○鈴木(強)政府委員 御答ヘ致シマ
ス、第三十一條ノ林業委員會ハ單ニ詰
問機關デアルト云フ點カラ、意見ノ取
上ゲノナイ場合ヲ憂慮シテ居ラレハヤ
ウデアリマスガ、構成ト致シマシテ
ノ、第三十條ニ構成ノ内容ガ詳ツテ居
リマシテ、斯様ナ組織ニ構成スルコト
ニナリマス、又民主的ナ組合、或ハ林
業委員會デアルノデアリマスカラ、
獨善的ナ指導者ガ其ノ地位ニ居ルナラ
バ、詰問機關ト云フコトデ済ム譯
デゴザイマスガ、今後ノ日本ノ行キ方
ニ於キマシテハ、凡ユル意見ヲ取上ゲ
ルコトハ勿論デアリマシテ、特ニ斯ウ
シテ林業會法ニハツキリト林業委員會
ガ規定サレテ居ルノデゴザイマスカ
ラ、是等ノ意見ハ十分ニ尊重セラレル

コト存ジマス、萬一尊重セラレナイ
場合ニ於キマシテハ、是等林業會ニ於
キマシテモ、五分ノ一以上ノ議員ヲ以
テ何時モ役員ノ改選ノ所謂組合、或
ハ林業會ヲ運用スル理事長、會長ノ改
選モナシ得ル規定ニナツテ居リマスカ
ラ、是等ハ詰問機關ト申シマシテモ、
戰爭中ノ詰問ト云フ字句ノ解釋、運
轉ト、戰後ニ於ケル經濟界トニ於キマシ
テハ、非常ニ差異ガアルコトハ自他共
ニ諒承出來ルコト思ヒマス、斯様ニ
考ヘマシテ、御説ノ點ハ、或ハ御氣ニ
召サナイノデハナイカト存ジマスガ、
尙ホ一層是等ガ單ナル詰問機關ニ終ラ
ヌヤウニ、政府ニ於キマシテモ委員會
ノ運営ニ付キマシテハ、萬全ノ策ヲ講
ジタイト思ヒマス

○本名委員 人的ナ構成ニ付テハ三十
條ニハツキリ諒ツテアリマスガ、機構
ノ上ニ付テハマダ、其ノ御意見ガ明
カニサレテ居ラナイノデアリマス、是
ハ政府ニソレ程ノ御意圖ガアルナラ
バ、須ク此ノ委員會コソハ、林業會ニ
關スル總テヲ掌握シ得ル中樞機關デナ
ケレバナラナイ、隨テ此ノ委員會ヲ強
カニスル爲ニハ、最も林業ニ大切ナル
仕事デアル需給ノ調整ニ對スル特別委
員ヲ設ケル、更ニ之ヲ運営スル上ニ必
要ナ價格、規格ニ關スルコトヲ取扱フ
委員ヲ設ケ、更ニ是等林業會並ニ生産
者ノ經營ニ關スル指導、或ハ連絡、ソ
レ等ヲ行フ所ノ委員、更ニ需給調整、
或ハ價格ヲ取扱フコトニナレバ、監査
ノ制度モ必要ニナツテ來ルト思ヒマ
ス、是等ノ委員會ヲ設ケマシテ、實質
的ニ此ノ委員會ヲ強化スル必要ガアル
ト思ヒマスガ、是等ハ各委員會ノ構成
ヲ自由ニ任セテ置クカ、或ハゾコマデ
強力ニ政府ハ指導サレル御意思ガアル

カドウカラ伺ヒタイト思ヒマス
○鈴木(強)政府委員 御答ヘ致シマ
ス、委員會ヲ非常ニ強力ニセヨ、御尤モ
デゴザイマシテ、今度ハ委員會ノ運
ニ付キマシテハ、勿論今度出來マス日
本林業會ノ業務ノ執行ヲスベキ役員ニ
於テ、或ハ總會ニ於テ、色々御協議
ノ上決定サレルコト存ジマス、又生
レマシタ委員會ニ於キマシテモ、委員
會ノ業務ヲ果ス上ニ於テ各委員ハ色々
ノ觀點カラ委員會ヲ御作リニナルコト
ト存ジマス、今度出來マス林業會法ハ
飽クマデモ自認シ、會員ノ創設ト工
夫ニ依ツテ行キタイ、政府ニ於キマシ
テモ行過ギノアツタ場合ハ、是等ニ對
シテ一應ノ注意ナリ處分ナリ、或ハ命
令ヲナス、斯様ニ考ヘマシテ、監督ノ
責任ハ孰ルガ、出來ルナラ組合ガ全部
的ニヤツテ戴キタイ、斯様ニ考ヘテ居
リマス、併シナガラ委員會ハ飽クマデ
モ委員會デアリマシテ、業務ノ執行ハ
日本林業會ノ役員ガナスベキコトデア
ルコトハ、恐ラク今度出來マス委員會
ニ於テモ御異存ハナイト存ジマス、尙
ホ委員會ノ色々ノ規定ニ付キマシテ
ハ、或ル程度規定ナドニ規定致シマシ
テ、運用致スコトガ結構カト存ジマ
ス、斯様ニ考ヘマス

○本名委員 林業會ニ對スル民主的
ナ、動向ヲ啓發ササレヤウトサレマス
御意圖ハ能ク分リマスガ、願クハ其ノ
御意圖ガ完全ニ實現サレルヤウニ望ム
ノデアリマス、私ノ懸念致シマス所ハ
適デアリマシテ、寧ろ監督ガ行過ギテ
強制ニナルヤウナ面ガ起ヤシナイカト云
フコトヲ心配致シマス、併シ其ノ御意
圖ヲ我々ハ多イトシテ、是ハ此ノ程度
ニ致シマシテ、次ニ第三十二條ノ林產
物ノ検査ノコトニ付テ伺ヒタイト思ヒ

マス
大體此ノ検査員ノ林業會ニ於テ運
スル時期ハ、林業會設立同時デア
カドウカト云フコトハ、此ノ條文デ見
マスルト、任免權ハ依然トシテ行政官
廳ガ握ツテ居ルヤウナ形デアリマス、
本法案ガ民主化サレタ法案デアルト云
ヒ、或ハ業者ノ民主的ナル活動ニ俟ツ
爲ノ法案デアルト云ヒナガラ、最も生
產ノ上ニ支障ヲ來シ、需給調整ノ上ニ
猶トナツタ林產物ノ検査ガ、依然トシ
テ本條ニ於テハツキリト、官營統制ト
何等變ラナイ字句ヲ以テ置クテアルコ
トハ、非常ニ不可解トスル所デアリマ
ス、隨テ我々ハ此ノ點ハ決シテ自主的
ナ條文デアナイト考ヘルト同時ニ、官
廳ハ林產物検査ニ對シテハ指導監督ヲ
スル程度ニ致シマシテ、此ノ條文ハ相
當ノ修正ガ必要デアラウト思ヒマス、
御意見ヲ承リマス

○鈴木(強)政府委員 第三十二條ノ檢
査ヲスル時期ハイツ頃デアルカ、此ノ
検査ハ非常ナ公益的ノ性格ヲ持ツノデア
リマシテ、隨テ検査ノ時期ハ林業會ガ
相當ナル時期ニ達シマシテ、十分ナル
行動ガ出來ルト云フ時期ニ検査ヲ執行
スベキダト存ズルノデアリマス、又
慈々任スナラバ、直チニ検査ヲヤツテ、
各林業會ニ任セテ、サウシテ政府ハ之
ニ監督シナグモ宜イデハナイカト云フ
御話デゴザイマスガ、検査ニ對スル觀
念ニ付キマシテハ、色々考ヘ方ガアル
ト存ジマス、大キナ眼デ言ヒマスナラ
バ、寧ろ検査ノ如キハ國營ヲ以テヤル
ベキデアル、大キナ公益性ヲ持タシメ
社會性ヲ高メル上ニ於キマシテハ、寧
ろ國ナリ社會ガソレニ「タッチ」スルコ
トガ重要デアルト存ジマス、勿論品物
ガ澤山出來マシテ、業者ガドウシテモ

ヤラナクテハナラス、自ら自分ノ品物ニ付テ振替シテ行クト云フヤウナ自主的ナ觀念ノ愈々出來テ參シタ時ニ於キマシテハ、左様ナコトモ言ヘルト思ヒマスガ、一面ニ於キマシテ、消費者側ガ全般的ニ網羅的ニ信賴スルト云フ點ニ於キマシテハ、ヤハリ或ル程度ノ社會性、國家性ヲ持タセルコトガ宜シイノゲハナイカト存ジマス、併シナガラ組合自體ノ健全ヲ發達シ望ム上ニ於キマシテ、林業會ニ檢査ヲヤツテ戴キタイ、隨テ檢査ノ過程ニ於キマシテハ、是等ノ檢査員ニ付キマシテハ、國ニ於テモ一應限リ通サシテ戴ク、斯様ニ考ヘタイノデゾイマス

○本名委員 木材ノ檢査ト申シマスヨリモ、規格品等ニ付テハ、是ハ論議ノ非常ニ多イ所デアリマス、隨テ自主的ナ、良心的ナ檢査ヲ否定スルカ、或ハ是等ノ困難性ノアル木材ヲ、國營ニ依ツテ完全ナ檢査ガ出來ルカドウカト云フ所ニ私ハ非常ニ疑問ヲ持デマス、隨テ是ハ何處マデモ、折角整足スル、育テ上ゲル組合ヲシテ、業界ヲシテ自主的ニ、良心的ニ檢査ヲ行ハシメルコトコソガ、單リ木材林業物ノミナラズ、將來ノ凡ニル産業面ニ於ケル民主化ノ前提デアラウト考ヘマス、此ノ點ニ付テハ寫御一考ヲ煩ハシタイト思ヒマス

次ニ先般モ永井委員カラモ御話ガアリマシタガ、第六十七條ノ第一項第三號ニ「組合員ノ林業業に必要ナ物資ノ供給又は資金ノ貸付」ト云フコトガアリマスガ、此ノ物資ノ供給ニ付テ、永井委員ノ第一種業種ニ指定スルトハ出來ナイカト云フ御質問ニ對シテ、是カラ研究スルト云フ御答辯デアリマシタガ、恐ラク林業物ノ生産ニ、物資

ノ裏付ナクシテハ到底其ノ生産ノ確保ハ期セラレナイコトハ當然デアリマス、今日ノ凡ニル物資ノ生産狀況カラ申シマシテ、獨リ林業會ノミガソレヲ裕福ニ得ルト云フコトハ申サレマセスガ、少クモ林業ノ重要性ヲ再認識シレマシテ、一刻モ早ク此ノ一種業種ニ指定スルベク努力サレコトガ、主務官廳農林省トシテハ大キナ仕事ノ一ツデアルト思ヒマス、此ノ點ニ付テハツキリシタ御意見ヲモ一度伺ヒタイト思ヒマス

○鈴木(強)政府委員 洵ニ御説御尤モデアリマス、左様ニナリマスヤウニ努力致シタイト存ジマス
○本名委員 本法案ニ依リマス、林業會ハ第四條ニ於キマシテ、林業物ノ生産及ビ配給ニ關スル勸導、林業物ノ價格統制ニ關スル政府ノ施策ニ對スル協力、政府ノ指示ニ基キ林業ニ必要ナル物資ノ制當ト云フヤウナ、重要ナルコトヲ扱フコトニナツテ居リマス、更ニ又前項ノ二號ニ於テハ、共同施設ヲナスコトニナツテ居リマス、是等ニ付テ考ヘテ一步突込シテ見マス、我々ハ最モ忌ムベキ不結果ニ終ツタ日本社ヲ彷彿サセルノデアリマス、林業會ガ此ノ形ヲ此ノ儘デ行クナレバ、多分ニ買取販賣ヲ致シ、曾テハ日本ノ場合ヲ二度繰返シマスコトヲ非常ニ心配致スノデアリマスガ、此ノ點ニ對シテ、政府ハ何處マデ林業會ノ共同施設並ニ木材ノ配給其ノ他ニ關シテモ、突込シテ仕事サセル御計畫カラ伺ヒタイノデアリマス

○鈴木(強)政府委員 林業組合ト林業會ハ、御説ノ通り所謂戰後ノ計畫經濟ヲヤル爲ニ、三ツノ此處ニ示サレタ仕事ヲ協力シテヤラナクチャナラス、是等ハ當然ノコトカト存ズルノデアリマス、併シナガラ過去ニ於キマスル統制團體ノ獨善的ナ行過ギカラ、事業ノ一手買取ノ結果、色々ノ弊害ノ出デ居ルコトハ御説ノ通りデアリマシテ、此ノ爲ニ新タニ林業會法ガ生レルノデゾイマスカラ、是等ノ點ニ付キマシテハ、勿論會員、組合員自身ノ協力ニ依リマシテ、其ノ御心配ノヤウナコトハ出來得ナイト存ジマス、特ニ林業會ニ付キマシテハ成ベク經理團體ト致ス、事業團體デナク、經理團體トシテ一同ヲ指導シテ行キタイト考ヘテ居リマス、ソレデ又林業組合ニ於キマシテハ、一手買取ノ出來ルコトモ、所謂同立場ノ業者ガ集マリマシテ、共同的ナ施設ナリ、共同的ナモノノ設備ガ出來ルコトハ、業界ノ發達上望マシイコトカト存ジマシテ、全組合員ノ施設團體ニ於キマシテハ、或ハ一手買取、或ハ一手販賣モ出來ルコトモ、業者ノ意向ニ依ツテハ宜シイノデアリナカ、此ノ點ニ於キマシテハ窮屈ナ法令ガデナク、何レニモ組合員ガ健全ナル發達ヲスル上ニ於キマシテハ、一手買取シテモ宜イノデアリナカ、シナクモ宜イノデアリナカト云フヤウナ御點デ、林業組合ニ於テハ指導シテ居リマスガ、林業會ニ於キマシテハ、成ルベク經理團體トシテ、指導機關トシテヤツテ行キタイト考ヘテ居リマス

○本名委員 大臣ガ御見エニナリマシタノデ、大臣ニ御伺ヒシタイコトヲ進メタイト思ヒマス、先ツ最初ニ林業ノ政策ニ付テハ、三御尋ネテ致シタイト思ヒマス、此ノ問題ニ付テハ既ニ他ノ委員カラ色々御意見ガアリマシタ、又政府ノ意圖サレコトモ大體ニ於テ見透シガ付イタノデアリマスガ、私ハ今マデノ御説明ノ中ニ不徹底ノ點モアリ、又別ナ觀點カラモ二、三御尋ネ致シテ見タイト思ヒマス

先ツ第一ニ林政ノ機構ニ付テデアリマス、林政ノ機構ニ付テハ先ツ林業行政主管廳ヲ統一スルト云フコトデアリマス、是ハ前回各委員會カラ御話ガアリマシタガ、私ハ此ノコトハ木材、薪炭等ノ需給調整ハ、全國ノ一元の統制機構ノ下ニ置イテ、其ノ需給ノ理想ヲ完全ニ實現セシメナレバナラナイト思ヒマス、次ニハ、國有林ノ一元の經營ハ、殊ニ新法實施ノ曉ニ於テハ、御料林ノ百三十一萬石ノ中約百萬石、更ニ從來ノ國有林六百七十萬石ヲ合セマシテ、約八百萬石カラノモノガ國有林トシテ一手ニ歸屬スルノデアリマスガ、是等ハ國庫財政上カラ見マシテモ重要ナルハ勿論、全國ノ木材需給調整ノ上ニ重大ナル役割ヲ有スルコトハ申上ゲルマデモナイト存ジマス、次ニハ、森林ノ國土保安上ノ凡ニル機構ノ動キハ、何トシテモ全國ヲ一元トシタ、而モ緩急輕重宜シキヲ得マシテ、國家百年ノ大計ヲ慮ツテ立案運營セラレマス所ノ、森林ノ施案ノ確立ヲ俟ツテ、初メテ希望ヲ持チ、永遠ノ計畫ガ實現セラレルデアラウト考ヘマス、次ニ第四點ト致シマシテ、日本ノ經濟ヲ再建シマス上ニ、又戰後ノ經濟ノ根幹ヲナシマスモノハ、何ト云フテモ計畫經濟ノ樹立デナレバナラナイト信ズルノデアリマス、林業再建モ此ノ線ニ沿ツテ行クノ當然ノコトデアラウト存ジマス、其ノ計畫ノ實施ト其ノ施策ノ根本的資料ノ蒐集ガ統一セラレテ居ナレバ、此ノ計畫經濟ノ實現ニハ色々支障ヲ來スノデハナカラウカト思ヒマス、其ノ點ニ於テ、一元の機構ノ下ニ是等ヲ行ヒマシテ、初メテ

林政ノ完壁ガ期セラレルト思フノデアリマス、我が國ガ結果ニ於テ今日マデノ林政政策ヲ或ハ誤リ、木材ノ供給ニ於ケル、色々ナ不都合ヲ生ゼシメ、更ニ戰後一箇年餘ニ垂ントスル今日、未ダニ全國林政ニ見ルベキ對策ノ著手モナケレバ、勿論實現モナキヤウナ狀態ハ、洵ニ遺憾トスル所デアリマシテ、各林野ノ經營並ニ生産ノ不振ハ、其ノ主管廳ノ分立ト一貫性ノ缺如ヨリ來ル所ガ大イニアラウト存ジマス、此ノ國家の不統一ハ、延イテハ國土保安ヘシイ一例ヲ中上ゲマスナラバ、北海道ノ森林行政コソハ、我が國ノ經濟ノ面ニモ、亦戰後復興ノ面ニモ大キナ役割ヲ果スニモ拘ラズ、國內ニ於ケル經濟關係會議會ニ、内務大臣ガ其ノ發言ヲ有シナイコトハ洵ニ不可解ナルコトデアリマス、其ノ他事情ヲ述ベテ先ツ國有林、即チ森林省、内務省、文部省、運輸省、終戦後ニ於ケル大藏省所管ノ林野一元の二取扱アコト、次ニ御料林ノ經營モ委託スル、第三ハ公私有林ノ主管廳モ之ニ含メテ統一スル、此ノ三點ヲ一應林業行政ノ主管廳タル所ノ森林省ニ、其ノ主管ヲ統一セシメルコトガ最モ必要デアリコトハ、既ニ屢々述ベラレタ所デアリマスガ、山林局ガ此ノヤウナ大主管廳トシテ役割ヲ果シ得ルカドウカト云フコトデアリマス、今日マデモ其ノ行政力ニ於テ、迫力ニ於テ甚ダ不振ノ狀態ニアリ、殊ニ國家存續、興亡ノ甚難タル森林行政ニ幾多遺憾ノ點ヲ印シタコトニ鑑ミマシテモ、或ハ今後ノ大機構ヲ完成スル點カラモ、此ノ森林省ノ一部局タル山林局ヲ獨立廳トシテ完全ニ獨立ナシ、以

○和田國務大臣 林政ノ統一ニ付キマシテハ、委員會ニ於キマシテモ屢々私御答ヘ致シタ譯デアリマス、御話ノヤウニ、從來ハ色々ナ歴史ハアツタ譯デアリマスルガ、林政ノ上カラ言ヒマシテ不満足ナ點ガ多々アツタト思ヒマス、ソコデ斯ウ云フ色々ナ制度ガ變革シテ來テ居ル時期デアリマスノデ、我我ト致シマシテモ、其ノ點ニ付キマシテハ今後ハ十分ニ努力致シタイト思ヒマス、唯此ノ山林關係ヲ一ツノ官廳ニスルト云フコトデアリマスガ、此ノ點ニ付テハ色々ナ議論ガアルノデアリマシテ、私共ハ其ノ點ニ付テハ一概ニ贊成シ兼ねマス、ソレハ前々カラモ申上ゲマシタヤウニ、實ハ山林ト言ヒナガラ、山林ハ同時ニ、ソレヲ裏返セバ、

○本名委員 大臣ノ御意向ヲ承リマシテ満足致シマスガ、唯大臣ハ、色々御抱負ト御經綸ヲ持ツテ、今後此ノ問題ヲ解決致サレルト云フ御決意ノ程ハ竊ハ

○和田國務大臣　是ハ本會議ニ於キマシテモ、又豫算總會ニ於キマシテモ、本委員會ニ於キマシテモ御答ヘ致シマシタノデアリカスガ、林政ノ點ニ付キマシテハ、是ハ何等カノ委員會ヲ設ケマシテ、サウシテ唯林政ノ機構ノ統一ト云フコトダケデハナクシテ、林政一般色々ナ施策ノ點ニ付キマシテモ、卓見ノアル方々ノ御意見ヲ伺ヒマシテ、一步進メテ行キタイト斯ワ考ヘテ居リマス

○本名委員 次ハ國土計畫ト林野ノ特別會計ノ設定ニ付テ大臣ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス、綜合國土計畫ノ必要性竝ニ其ノ實現ニ對スル諸種ノ計畫ハ、ソレノ委員カラモ述ベラレ、又既に政府ニ於テモ著々進メラレテ居ルヤウデアリマスガ、治山治水ノ施策ヲ完遂スルト共ニ、基本ノナ植伐計畫ヲ實施スルコトガ肝要ナコトハ申スマデモアリマスガ、何ト冒ツテ申植伐ノ均衡ヲ圖ルコトガ最も重要デアラウト思ヒマス、併シ今日ノ如キ領土ヲ失ヒ、狹メラレタ國土ニ於キマシテハ、根本カラ林野ノ再編成替ヲシナケレバナラナイト思ヒマス、即チ農業、畜産或ハ林業ノ立地ノナ分野ヲハツキリト確定スル爲ニ、色々ナ方法ヲ切替ヲ行フ必要ガアラウト思ヒマス、官有或ハ民有、其ノ他相互間ニ於テ此ノ林野、農地其ノ他ニ交換又ハ買上、分割

於テ、其ノ資金ノ面ニ於テ、凡ニル關聯アル方策ノ上ニ於テ、獨自ノ手段ト方法ヲ以テ當ラナケレバ、容易ニ此ノ森林更生ノ事業ハナシ得ナイト考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付テ大臣ノ御意見ヲ伺ヒマス

○和田國務大臣　國有林ノ整備經營ニ付テノ特別會計制度ハ、是ハ私モ必要ダト思ヒマス、是等ノ點ニ付テハ十分我々ト致シマシテモ必要性ヲ認メテ居リマスルノデ、今後トモ此ノ點ニ付テ實現ヲ期シタイト思ツテ居リマス、其ノ他ノ點ニ付テハ、是ハ尙ホ相當研究ヲ要スルコトダト實ハ思ツテ居ル次第デアリマス

○本名委員　相當研究ヲ要スル問題デ

アラウトハ思ヒマスガ、是非トモ將來ニ於テ之ヲ實現スルコトヲ心カラ念ズルモノデアリマス

次ハ林政ノ特異性カラ考ヘマシテ、

同感デアリマス、唯現在ノ官吏ノ制度
デ、ソレガヤリ得ル限度ト云フモノガ
アル譯デアリマスカラ、思フヤウナコ
トハ出来ナイカモ知レマセヌガ、御趣
旨ノ點ニ付テハ我々トシテモチツトモ
異存ハゴザイマセヌ、結局ハ人ノ間題
ニナルノデアリマシテ、農林省トシマ
シテハ、是ハ事務ト云ヒ、技術ト云
ヒ、實際上ハ相表裏シテ居ルモノデゴ
ザイマスノデ、技術官ノ登用ノ點ニ付
キマシテハ、我々ハ從來ト雖モ是ハ促
進ヲ致シテ來テ居ルノデアリマシテ、
現ニ山林局長ハ技術官ガナラレテ居ル
ヤウナ譯ナノデアリマス、結局人ノ間
題ナノデアリマシテ、唯技術官ト云フ
ダケデハイケナイノデアツテ、優秀ナ

技術ヲ持チ、同時ニ人ノ長タル才能ヲ
持ツト云フコトガ必要ダト思フノデア
リマス、御趣旨ノ點ハ十分我々トシテ
モ同感デアリ、又出來ルルダケ實行ヲシ

テ行クト云フ考ヘデ居リマス
○本名委員 大臣ノ御意圖ノアルコトヲ伺ヒマシテ、非常ニ心強ク存ジマス、今後他ノ方面トモ始終連絡ヲ致シマシテ、此ノ實現ヲ期サレタイト思ヒマス、唯大臣ハ、民間カラ登用スルコトヲ是非合メテ御考ヘ置キ願ヒタイト思ヒマス

次ニ林業ノ緊急ノ對策ニ付テ二、三點御伺ヒ致シタイト存ジマス、先ツ第一ニ、森林資源ノ培養ニ付テ御尋ね致シタイノデアリマス、是ハモウ既に各委員カラ豊富ナル意見ト、御經驗ヲ基トシタ建設ノ質問ガアリマシタノデ、私ハ成ベク重複シナイ範圍ニ於テ二、三點伺ヒタイト思ヒマス、第二ニ造林ノ計畫ニ付キマシテ、政府ハ積極的ニ之ヲ助成ヲシ、或ハ獎勵モスルト云フ御意圖ノ程ハ分ツタノデアリマスガ、此ノ實行ニ當リ、更ニ又此ノ計畫ヲ完遂シツ、アルモノニ對シテ、政府ノ保護策ガ如何ナル狀態ニナツテ居ルカト云フコトヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、第三ニ森林ノ所有者ニ對スル租稅ノ問題デアリマス、租稅ノ徵收方法ガ現在下ノヤウナ方針デアリ、現況デアルカト云フコトト、地方ノ町村、特ニ貧弱町村ニ許サレタコトデアラウト思フノデアリマスガ、伐採稅或ハ移出稅ト稱シマシテ、林產物ノ伐採、積出ニ對シテ町村稅ヲ課シテ居ル所ガアルノデアリマス、是等ノコトハ、國民トシテノ當然ノ義務ハ果スベキデアリマスガ、勸モスルト此ノ扱ノ不公平、不平等カラ起キル所ノ生弊ヘノ阻碍、或ハ森林培養ヘノ根本的ノ障害トナツテ、其ノ育成植栽ニ支障ヲ來ス面モナキニシモアラズデアリマス、此ノ點ニ付テ御伺ヒスルコトト、次ニ森林資源

造成法ニ付キマシテハ、今日マデ色々意ノアル所ヲ伺ヒマシタガ、一刻モ速カニ改正スルコトガ、此ノ森林計畫、造林計畫ニ對スル大キモノデアラウト存ジマス、次ニ造林ニ對シマスル努力ニ對シテ、如何様ナ保護ヲ政府ハ御執リニナルカ、労働保險法デアルトカ、或ハ其ノ他ノ共済施設ニ對シマシテモ、積極的ニ政府ハ之ニ對シテ助成ヲスベキデアラウト考ヘマス、特ニ公共事業費ノ如キモ、別方面カラ是等ノ保護ニ流用サレルコトガ必要デアラウト思ヒマス、更ニ又一般的デアルトハ言ヘ、此ノ造林ニ從事スル所ノ勞務者ニ對スル食糧、其ノ他衣料ヲ初メ、生活作業必需品ノ配給ニ對シテハ、餘リニモ今日マデ閉却サレテハ居ナカワタカ、是等ノコトガ是正サレナケレバ、折角ノ造林植栽計畫モ、意ノ如ク進マナイ原因ヲ醸シ出スコトニナラウト思ヒマス、尙ホ今後ハ恐ラクハナカラウト思ヒマスガ、假ニ強制造林ヲサセラレタ場合ニ、政府ト致シマシテハ、之ニ對スル造林者ノ損失ニ對シテドノヤウナ補填ヲスルカ、以上ノ五點ニ付テ御意見ヲ承ルト同時ニ、是等ノコトガ明朗化サレケレバ、造林事業ニ幾多ノ支障ヲ來スコトニナラウト存ジマスノデ、詳シイ御説明ヲ御願ヒ致シタイト存ジマス

○平川政府委員 稍々具體的ナ細カイ問題デアリマスカラ、私カラ御答ヘ申上ゲマス、森林所有者ニ對スル租稅ニ關シマシテハ、現在ノ地租ハ御承知ノ如ク極メテ低率ナデアリマス、サウ大キナ負擔デハナカラウカト存ジマス、又地方稅トシテモ、伐出稅其ノ他ヲ課ケテ居ル所ガアルト云フコトデアリマスガ、之ニ關シマシテハ、御話ノ

如ク色々ナ造林上、或ハ森林資源ノ保護上ニ惡影響モアラウカト存ジマス、内務省トモ連絡ヲ致シマシテ、出來得ル限り是ハ止メサセルヤウニ致シタイト思ヒマス、其ノ他造林者ノ保護ト致シマシテ各種ノ助成ヲ致シテ居ルコトハ、先般來屢々申上ゲタ通りデアリマス、ソレカラ勞務者ノ保護等ニ關シマシテハ、労働條件、勞務者ノ災害扶助法ト云フヤウナモノノ適用ヲ、森林勞働者ニモ致スヤウニ致シマシテ、本年カラ之ニ對スル加入ヲ指導致シテ居ルヤウナ狀況デアリマス、ソレカラ勞務者ニ對スル食糧ニ關シマシテハ、斫伐等ニ對シマシテハ食糧ノ加配モ考慮致シテ居ルノデアリマス、造林ノ方ニ對シマシテハ、未ダソレダケノコトヲ致シテ居リマセヌ、將來尙ホ考慮シタイト思ツテ居リマス、衣料其ノ他ニ關シマシテモ一定ノ、出來得ル限り優先的ノ順位ヲ以テマシテ、森林勞務者ニ對シマシテモ相當ノ加配ヲ致スコト云フコトニ致シテ居リマス、尙ホ強制造林ト云フコトガ將來行ハレマスカ、目下ノ所ハツキリト考ヘテ居ル譯デモゴザイマセヌガ、造林ニ關シマシテハ、從來トモ寧ろ相當ノ助成ヲ致シマシテ實施シテ居ル位デゴザイマスノデ、損失等ガ假ニアルト云フヤウナコトガアリマスレバ、當然是ハ相當ノ補償ヲスルコトニナラウカト思ヒマス、造林ニ關シマシテハ一貫ヲ致シマシテ、相當手厚イ保護ヲ致シテ居ルト申上ゲテ差支ヘナイト思ヒマス

○森委員長 本日ハ此ノ程度ニ致シマシテ、次會ハ明六日午前十時ヨリ開キタイト存ジマス、本日ハ是テ散會致シマス
午前十一時五十九分散會